

[令和4年度] 第4回 飯田市新文化会館整備検討委員会 次第

日時 令和4年11月25日(金) 午後7時～  
場所 飯田文化会館 人形劇場

1 開 会

2 議事

(1) 前回の振り返り・今後の進め方  
(当日配布資料No.1、No.2)

(2) 学習会

①基調講演

○テーマ：全国事例から見えてくる新しい時代の地域の公共劇場の姿

○講師：公益社団法人 全国公立文化施設協会 アドバイザー 草加 叔也 氏  
(劇場計画コンサルタント/空間創造研究所 取締役/岡山芸術創造劇場長)

②パネルディスカッション [特別対談]

○テーマ：リニア時代の飯田にふさわしい「新飯田文化会館のあり方」

○コーディネーター (進行)：

佐々木 宏幸 学識委員 (明治大学 教授/博士/一級建築士/米国公認都市計画家)

○対談者：

草加 叔也 講師

小澤 櫻作 学識委員 (上田市交流文化芸術センター[サトミュージゼ] プロデューサー)

山元 浩 学識委員 (名古屋フィルハーモニー交響楽団 演奏事業部長)

塩澤 哲夫 整備検討委員長

3 事務連絡

・本日の感想、その他ご意見は、【報告様式】にご記入いただき、後日ご提出ください。

・第5回整備検討委員会 令和5年2月3日(金) 19:00～ (予定)  
※飯田市公民館 (ムトスぷらざ 2階 多目的ホール)

4 閉会

## ○新しい文化会館の「基本理念」（これまでの検討材料）

★30のキーワード（第1回、第2回 ワークショップ、委員アンケートから）

ローカル (地域)	人が集まる場 (たまり場)	寄り合いの場 (市民が使う)	練習の場	日常
周辺との結びつき (点から線へ)	出会いの場	みんなでやる 文化	自主活動 自立的な活動	文化を育む
楽しむ場 (ワクワク感)	(地域ぐるみで) つながる場	「みる」 「演じる」 「ささえる」	みんなで つくる場	文化を 享受する場
幅広い世代の声 が聞こえる場	学びの場 (体験の場)	(みんなの) ひろば	発表の場	心を満たす場
多様性を 認める場	人を育てる場	吸収し、継承し、 発展させる力	感動を与える場 感動する場	本物に触れられる場 感性を磨く場
リージョナル (広域的視野)	リニア開通後 の役割	文化を創造する 拠点	(伝える) 発信する場	非日常 (ハレの場)

## ◆基本理念（9/22 検討素案）：

みんなが集い、創り、伝え、(共に) 感動する 「飯田 文化芸術 ひろば」  
 ①      ②a   b      c      d      ③      ④

## ・ 4つの検討ポイント：

- ①みんな、②4つのキーワード： a 集う、b 創る、c 伝える、d 感動する  
 ③飯田： 飯田という独自性、④ひろば： ひろば という社会的、空間的概念



## 主な意見：

- ・「飯田」や「文化芸術」という言葉は、(当たり前だから)なくてもいいのでは。
- ・街の未来像が入っていくと、さらに奥行きが深いものになっていくのではないか。
- ・このような形の分かりやすい言葉が並ぶというのは非常に重要と思う。
- ・基本理念は、基本構想の議論に入っていくときの「よりどころ」という役割もあるため、今後、独自性を考えるために現時点で「飯田」を残しておくことが重要である。
- ・今の段階でフレーズを1つに絞り込む必要はない。今後の基本構想の議論のよりどころとし、ある一定の期が熟した段階でまとめていくというやり方もある。

## 基本理念（提案 本日時点の仮）：

みんなが集い、創り 伝える 感動の飯田ひろば

## 今後の検討材料：

「みんな」⇔「だれもが」、ともに、感動を味わう、「私たち」の ひろば …など

## 今後の進め方

### ◆第 1 回 ミニワークショップ : 6/10

「飯田の文化とは」

… 3 班に分かれて意見交換・発表

### ◆第 2 回 ワークショップ : 7/19

「飯田の文化② 飯田文化会館が果たす役割」

… 5 班に分かれて意見交換・発表

### ◆第 3 回 委員会 (全体) : 9/22

「新しい文化会館の基本理念」(素案の検討)

前 回

### ◆第 4 回 委員会 : 11/25

「新しい文化会館の基本構想」の議論に向けての学習会

今 回

### ◆第 5 回 委員会 : R5 年 2 月 3 日(予定)

「新しい文化会館の基本構想 (活動内容の検討)」

次 回

### ◆第 6 回 委員会 : 未定

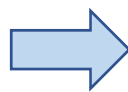
「新しい文化会館の基本構想」

#### 基本理念・構想 (R4~R5)

◇目標とすべき将来像や理念を描き、その実現のための方針(方向性)を示す。 [骨格…考え方]

(例)

- ・新しい施設の基本コンセプト
- ・事業の考え方
- ・施設整備の考え方 など



#### 基本計画

◇基本構想を実現するため、体系的・計画的に検討し、施設構成や設備を計画する。 [具体案…計画]

(例)

- ・具体的な条件整理
- ・必要機能、施設規模
- ・概算事業費 など

## 基調講演

---

### 講師 プロフィール：

公益社団法人 全国公立文化施設協会 アドバイザー 草加 叔也 氏

(空間創造研究所 取締役／岡山芸術創造劇場劇場長)

岡山県倉敷市生まれ。劇場・音楽堂等、演出空間を中心に基本構想から施設計画、管理運営計画(指定管理者選定支援等含む)など劇場計画コンサルタントとして「新潟市民芸術文化会館」「長久手町文化の家」「可児市文化創造センター」「国立劇場おきなわ」「兵庫県立芸術文化センター」など各地の劇場づくりに関わるとともに、ピーター・ブルック、ピナ・バウシュなど演出作品の日本公演で、技術監督として直接上演活動に携わる。

1989年には芸術家在外研修員として渡英。

現在、岡山芸術創造劇場 劇場長、空間創造研究所取締役として活動。また、公益財団法人千葉県文化振興財団 理事、東京芸術文化評議会・専門委員会委員、東京文化会館運営委員を務める。

## 特別対談

---

### 登壇者 プロフィール：

佐々木 宏幸 学識委員(明治大学 教授／博士／一級建築士／米国公認都市計画家)

明治大学理工学部建築学科 教授。建築・アーバンデザイン研究室にて、公共空間の可能性を探求するために、公共空間、特にストリート空間の活用に関して研究。

飯田市においては、2017年から中心市街地の裏界線の商業利用の可能性を研究。最近では橋北地区の春草通りの活用として「春草テラス」の取組や座光寺地区と東京渋谷区を「りんご」でつなげる交流の取組、下伊那農業高校と一緒に地域の竹を活用した移動式鳥小屋の制作、天龍峡の空き家片付けのボランティアへの参加など、当市における研究と活動を継続しながら、都市と地方の新たな連携の在り方と可能性を模索。大学研究者のネットワーク組織である「学輪IIDA」にも参加。

## 小澤 櫻作 学識委員（上田市交流文化芸術センター[サトミューゼ] プロデューサー）

上田市交流文化芸術センター・プロデューサーとして活躍。『令和4年度次期「長野県文化芸術振興計画」策定に係る有識者懇談会』に携わる。2008年から2013年まで、アフィニス文化財団に所属し、事業部部長として主に飯田市で開催されてきた「アフィニス夏の音楽祭」を担当。

現在、（一財）地域創造「公共ホール音楽活性化事業」チーフコーディネーターとして全国各地の公共ホールを支援。平塚文化芸術ホールの管理運営アドバイザーや竹田市総合文化センター・チーフプロデューサー、（仮称）徳島文化芸術ホール管理運営計画検討委員などを務める。全国各地の文化芸術ホールの事例に精通。

---

## 山元 浩 学識委員（名古屋フィルハーモニー交響楽団 演奏事業部長）

名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏事業部長として、名フィルの演奏企画を担当。アフィニス夏の音楽祭では運営委員として、2006年から飯田での開催を終える2008年まで運営に携わる。2009年に立ち上げた市民による市民のための音楽祭「オーケストラと友に音楽祭」のパートナー・オーケストラである「名古屋フィルハーモニー交響楽団」側の事務局として尽力し、15年間にわたって飯田のオケ友を指導・協力。

令和元年から令和4年まで名古屋市の市民会館整備検討懇談会の委員として名古屋市が検討してきた「新たな劇場の基本構想」に関与。現在、東海市劇場運営協議会の委員を務める。

---

## 塩澤 哲夫 整備検討委員長

「オーケストラと友に音楽祭実行委員会」の実行委員長。  
第1回整備検討委員会において、委員の互選により委員長に就任。  
他に、飯田文化会館 舞台芸術鑑賞事業の企画委員長、飯田文化協会副会長など。